

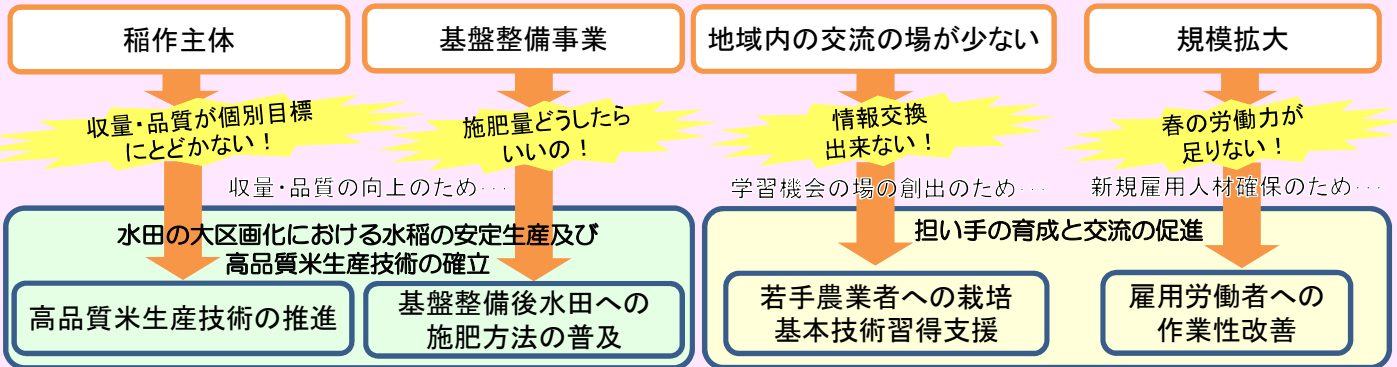
# 水稻を核とした農業経営の安定化

活動対象: 東川町東部地区(14戸2法人)

①高品質米生産技術の推進と②基盤整備後水田への施肥方法の普及を推進した。また、地域内交流を図るため③若手農業者への栽培基本技術習得支援を行い、④雇用労働者への作業性改善を農業者や関係機関と連携して取り組んだ。結果、高品質米生産技術の推進は基本技術の励行が7戸で、基盤整備後水田への施肥については2戸で改善され、水稻の生産性向上につながった。若手農業者への栽培技術習得は研修会を開催し、のべ29名が参加した。雇用労働者への作業性改善は関係機関と連携し、水稻のは種及び田植え作業に関する農作業マニュアルを作成した。

## 1 課題設定の背景

～地域の概要～ 平均耕地面積:23.5ha 経営面積の**96%が水稻**、平均年齢:60歳 6戸に後継者

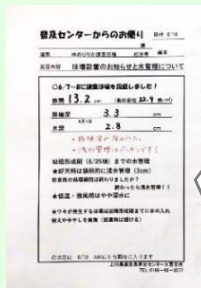


## 2 活動の経過

### ●水田の大区画化における水稻の安定生産及び高品質米生産技術の確立

#### ①高品質米生産技術の推進

- 定点調査ほを設け、各農家の栽培管理状況を確認
- 稲の生育状況を伝え、農家の管理作業に活用してもらう
- 調査結果を『稲のあゆみ』にまとめ、R3年の栽培管理の問題点と次年度の改善点について個別に提案



「普及センターからは、  
調査結果をお知らせ  
会えないときは、  
普及センターからのお便り」



#### ②基盤整備後水田への施肥方法の普及

- 基盤整備後の大区画化水田に作付けする3戸の農家に、土壌の性質や前年の稲の生育にあわせた施肥量を提案

#### 基盤整備後水田への施肥提案内容

農家名	土壌型	施行後年数	施肥提案	備考
A	褐色低地土	1年目	3割減肥	
D	強グライ土	1年目	4割以上減肥	粘土質土壌
F	褐色低地土	2年目	減肥なし	礫質土壌・生育後半の肥料切れ

### ●担い手の育成と交流の促進

#### ①若手農業者への栽培基本技術習得支援



- 水稻の基本技術習得に向けて3回の研修会を実施した。
- ア 育苗管理
- イ 冷害危険期の本田水管理と病害虫防除
- ウ 適期刈り取り

## ②雇用労働者への作業性改善



- 農家の協力のもと関係機関と連携し、農作業マニュアル用の写真及び動画撮影を実施。
- 関係機関と役割分担をして、農作業マニュアルの作成に取り組んだ。

## 3 活動の結果

😊『普及センターからのお便り』を活用したタイムリーな情報発信が、適正な栽培管理につながり、基本技術を実施した農家が増えた。  
**安定生産技術実施戸数(基本技術4項目以上)**  
**目標 5戸 → 実績 7戸**

😊 3戸中2戸で提案どおりの施肥が行われ、適性収量となり、収量・品質を確保した。1戸については、減肥割合が少なく、倒伏してしまった。  
**土壌物理・化学性に基づく施肥取組農家数**  
**目標 3戸 → 実績 2戸**

各農家の栽培管理実態を把握							改善点を整理	
農家	適正苗	栽植密度	水管理	適期収穫	溝切り	土壌診断	達成	次年度の主な改善項目
A	△	○	○	×	○	×	3 ×	徒長しない育苗管理
B	×	○	△	○	○	×	3 ×	ほ場の均平、雑草処理
C	○	○	○	○	○	○	6 ○	地力向上に向けた方策
D	×	○	△	×	○	×	2 ×	良質な苗づくり、茎数確保
E	△	○	○	○	○	○	5 ○	徒長しない育苗管理
F	○	○	○	○	○	○	6 ○	ワキを抑制する管理
G	△	○	○	○	○	○	5 ○	ムラのない育苗、施肥量の見直し
H	○	○	○	○	○	×	6 ○	移植深、施肥銘柄の確認
I	△	○	○	-	○	○	3 ×	施肥量の見直し
J	×	○	○	○	○	○	5 ○	地力向上に向けた方策
K	△	○	○	○	○	○	5 ○	継続した栽培管理

※ 基本技術を理解し実施した：○ 実施したが一部未実施となった：△ 未実施となった：×

『基本技術6項目と各農家の実施状況』

😊 育苗ハウスやほ場巡回しながらの情報交換が進み、6戸の後継者や女性農業者に加え、経営主、関係機関も含めて盛況に開催された。  
**水稻栽培研修会参加者数 目標 のべ30人 → 実績 のべ29人**

😊 は種作業5戸、田植え作業4戸(内2戸は両方の作業)で写真及び動画撮影の協力を得ることができた。撮影の協力農家にマニュアルについての意見をもらい、内容を修正して農作業マニュアルを完成させた。  
**農作業マニュアルの作成参加農家数 目標 3戸 → 実績 7戸**



## ～重点地区農家からの声～

### 『稲のあゆみ』について

- ・「調査の数値をまとめてもらい、次年度の改善策を提示してもらえるのはありがたい。次年度の栽培の参考にできる」
- ・「栽培改善技術に前向きに取り組みたい」



### 研修会について

- ・「地域で取り組んでいる新しい栽培技術の高密度は種の取組みや、大区画化水田の生育状況を確認できて良かったわ」

## 4 今後の活動

- 水田の大区画化における水稻の安定生産及び高品質米生産技術の確立
- ・ 高品質米生産に向けた個別農家の課題解決支援
- ・ 水田の透排水改善に向けた基本情報の収集

### ● 担い手の育成と交流の促進

- ・ 農家から研修内容の要望の聞き取りと次年度の研修計画を作成
- ・ 雇用者や農業者から意見を聞きとり、農作業マニュアル内容の追加及び修正
- ・ 新規農業雇用者の増加効果の検証